

平成 27 年度 長野保健医療大学 自己点検評価報告書

1 教育理念・到達目標

1) 大学の教育理念

学校法人 四徳学園は、「徳風洽四海」(徳風四海にあまねく)の精神を基本として豊かな人間性と医療に関する高い知識・技術を備えた人材を養成することを理念とする。

長野保健医療大学は、知恵・勇気・節制・正義の「四徳」を学び、他者に共感し、自己研鑽に励むことにより、人を慈しむ心である「仁心」を醸成・涵養し、保健・医療・福祉の専門職として必要かつ十分な知識と技能を修得することにより、「妙術」を目指し生涯にわたり修練と研鑽を重ねる基礎を身に着けた人材の育成を教育理念としている。

- ・四徳(しとく)：知恵・勇気・節制・正義
- ・仁心妙術(じんしんみょうじゅつ)：人を慈しむ「仁」の心と優れた知識・技能

2) 専攻ごとの目的と到達目標

学部、学科及び専攻の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

(1) 保健科学部

本学の教育理念を踏まえ、豊かな人間性と広い見識・教養・技術を有する医療人及び教育研究者の育成を目的とする。

(2) リハビリテーション学科

リハビリテーション分野において、総合的・学際的な高い能力を養うことを念頭に置いた教育・研究を行うとともに、豊かな人間としての基本を兼ね備えたリハビリテーションの専門家を育成することを目的とする。

(3) 理学療法学専攻

理学療法分野において、幅広い知識・技術・応用力を体系的に培う教育研究を行い、高度で専門的な知識を持ち、臨床の場での即戦力と問題解決能力を兼ね備えた理学療法士の育成を行う。

(4) 作業療法学専攻

作業療法分野において、幅広い知識・技術・応用力を体系的に培う教育研究を行い、高度で専門的な知識を持ち、臨床の場での即戦力と問題解決能力を兼ね備えた作業療法士の育成を行う。

2 教育活動

1) 学生の受け入れ

(1) 学生の受け入れ方針（アドミッションポリシー）

本学が求める「幅広い人間性」、「高い専門知識、技能」、「地域への貢献」、「グローバル社会に生きる」人材を育成するために、以下に示す方針で学生募集及び入学者の選考を行う。

- ・他者とのコミュニケーション能力をもち、他者の喜び、悩みに共感できる人
- ・仲間と協調した行動ができる人
- ・社会への関心をもち、社会貢献に意欲をもつ人
- ・大学生として、日常生活を自律的に管理できる生活習慣をもつ人
- ・善きことを求め、努力をする意志がある人

上記の資質に加え、

- ・高校教育では「国語」、「英語」の基礎的読解力、表現力を習得していること
- ・「物理」、「化学」、「生物」のいずれか一科目以上を履修していること

(2) 学生募集・入学者選抜の方針・方法

大学入学者の選抜は、大学教育を受けるに相応しい能力・適性等を多面的に判定し、公正かつ妥当な方法で実施する。本大学は、理学療法士または作業療法士を目指す高度な専門職業人の育成を目的としていることから、大学への志望動機、職業への理解など目的意識を面接等で確認する。

<平成 27 年度 入試情報>

a) 保健科学部 リハビリテーション学科 募集人員及び修業年限

専攻名	募集人員	修業年限
理学療法学	40 名（男女共学）	4 年（昼間 5 日制）
作業療法学	40 名（男女共学）	4 年（昼間 5 日制）

- ・卒業時に、理学療法士・作業療法士国家試験受験資格が与えられる。

b) 受験資格

高等学校卒業の者（卒業見込みの者も含む）又は、これと同等以上の学力を有する者。

c) 募集の種別，定員および出願条件

種別	募集定員	出願条件
指定校推薦入学		各指定高等学校へ専攻別に 6 月下旬までに推薦依頼をする。
公募推薦入学	指定校推薦，公募推薦を合せて各専攻 20 名	上記の受験資格を有し，専願（本学へ入学が確約できる者）であり，なおかつ下記の条件のすべてを満たす者。 i) 出身高等学校長より，理学療法・作業療法の教育を受けるに十分な素質を有すると認められ推薦が得られる者。 ii) 評定平均値が 3.3 以上の者。 iii) 高等学校を 2015（平成 27）年 3 月卒業見込みの者および 2014（平成 26）年 3 月卒業の者。
一般入学	I 期：各専攻 15 名 II 期：各専攻 5 名 ※III 期：若干名	高等学校卒業の者（卒業見込みの者も含む）又は，これと同等以上の学力を有する者。
社会人入学	I・II・III 期とも各専攻若干名	上記の受験資格を有し，専願（本学へ入学が確約できる者）であり，なおかつ下記の条件のいずれかを満たす者。 i) 入学時満 23 歳以上の者。〔1992（平成 4）年 4 月 1 日以前に生まれた者。〕 ii) 出願時において 2 年以上の就労経験がある者。

【注 1】受験希望者は，理学療法士・作業療法士の職業理解のため，入学試験前に病院などの施設見学及び学校見学を行うことが望ましい。

【注 2】各入学試験で第 2 志望専攻を選択することができる。

d) 入学試験日程

入試区分	出願期間(郵送・窓口受付)	試験日	合格発表	合格者手続き期間
指定校推薦	平成 26 年	平成 26 年 11 月 29 日(土)	平成 26 年 12 月 5 日(金)	平成 26 年 12 月 10 日(水)～ 12 月 19 日(金)
公募推薦Ⅰ期	11 月 10 日(月)～			
社会人Ⅰ期	11 月 21 日(金)			
公募推薦Ⅱ期	平成 26 年	平成 26 年 12 月 20 日(土)	平成 26 年 12 月 26 日(金)	平成 27 年 1 月 7 日(水)～ 1 月 16 日(金)
社会人Ⅱ期	12 月 8 日(月)～ 12 月 15 日(月)			
一般入試Ⅰ期	平成 27 年	平成 27 年 1 月 24 日(土)	平成 27 年 1 月 30 日(金)	平成 27 年 2 月 4 日(水)～ 2 月 13 日(金)
社会人Ⅲ期	1 月 7 日(水)～ 1 月 20 日(火)			
一般入試Ⅱ期	平成 27 年 2 月 2 日(月)～ 2 月 16 日(月)	平成 27 年 2 月 21 日(土)	平成 27 年 2 月 27 日(金)	平成 27 年 3 月 4 日(水)～ 3 月 11 日(水)
※一般入試Ⅲ期	平成 27 年 3 月 2 日(月)～ 3 月 9 日(月)	平成 27 年 3 月 11 日(水)	平成 27 年 3 月 13 日(金)	平成 27 年 3 月 18 日(水)～ 3 月 20 日(金)

※一般入試Ⅲ期については募集人員を満たしたため、実施せず。

e) 入学試験科目

※大学入試センター試験利用の入学試験は実施しない。

入試区分	学科試験	面接試験
指定校推薦	なし	個人面接 (20 分程度)
公募推薦	小論文試験課題文提示型 50 分 600～800 字	個人面接 (15 分程度)
一般入試Ⅰ期・Ⅱ期	4 教科 各 50 分 国語：国語総合（古典を除く） 数学：数学Ⅰ・A（数Aは3項目とも出題範囲とする） 英語：コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ（リスニングを除く） 理科：物理基礎・化学基礎・生物基礎から1科目を出願時に選択	個人面接 (10 分程度)
社会人	小論文試験課題文提示型 50 分 600～800 字	個人面接 (15 分程度)
※一般入試Ⅲ期	小論文試験課題文提示型 5 分 600～800 字	個人面接 (15 分程度)

※一般入試Ⅲ期については募集人員を満たしたため、実施せず。

f) 平成 27 年度 入学試験結果

i) 理学療法専攻：入学定員 40 名

試験区分	募集人員	試験日	出願数	受験者 (a)	合格者 (b)	(うち第 2 志望 合格)	追加 合格者	倍率 (a)/(b)	入学者	(うち 女子)
指定校推薦	計 20	11 月 29 日	8	8	8	0	0	—	8	4
公募推薦Ⅰ期		11 月 29 日	47	47	13	0	0	3.6	13	7
公募推薦Ⅱ期		12 月 20 日	23	23	7	0	0	3.3	7	4
一般入学Ⅰ期	15	1 月 24 日	60	60	18	0	0	3.3	9	3
一般入学Ⅱ期	5	2 月 21 日	24	23	9	0	1	2.6	10	2
一般入学Ⅲ期	若干名	3 月 11 日	※実施せず							
社会人Ⅰ期	若干名	11 月 29 日	0	0	0				0	
社会人Ⅱ期	若干名	12 月 20 日	0	0	0				0	
社会人Ⅲ期	若干名	1 月 24 日	0	0	0				0	
合計	40		162	161	55	0	1	3.3	47	20

ii) 作業療法学専攻：入学定員 40 名

試験区分	募集人員	試験日	出願数	受験者 (a)	合格者 (b)	(うち第 2志望 合格)	追加 合格者	倍率 (a)/(b)	入学者	(うち 女子)
指定校推薦	計 20	11月 29日	11	11	11	0	0	—	11	8
公募推薦Ⅰ期		11月 29日	28	28	12	2	0	2.3	12	9
公募推薦Ⅱ期		12月 20日	15	15	9	6	0	1.7	9	6
一般入学Ⅰ期	15	1月 24日	41	41	14	3	0	2.9	10	7
一般入学Ⅱ期	5	2月 21日	15	14	3	2	0	4.7	3	0
一般入学Ⅲ期	若干名	3月 11日	※実施せず							
社会人Ⅰ期	若干名	11月 29日	0	0	0				0	
社会人Ⅱ期	若干名	12月 20日	0	0	0				0	
社会人Ⅲ期	若干名	1月 24日	0	0	0				0	
合計	40		110	109	49	13	0	2.6	45	30
リハビリテーション学科合計			272	270	104	13	1	3.0	92	50

※出願者・受験者には第2志望者も含む

※倍率は指定校推薦を除く

(3) 学生定員充足状況（志願者数，合格者数，入学者数，在学者数等）

<平成 27 年度 学生数・収容定員・退学者数>

長野保健医療大学保健科学部リハビリテーション学科（平成 27 年 5 月 1 日現在）

入学年度	学年	理学療法学 専攻		作業療法学 専攻		学科計		収容定員
		学生数	(退学者数)	学生数	(退学者数)	学生数	(退学者数)	学科計
平成 27 年	1 年	47	(0)	45	(0)	92	(0)	80
計		47	(0)	45	(0)	92	(0)	320

(4) 編入学の方針と状況

学則第 28 条に規定する編入学については，完成年度となる平成 30 年度以降 編入学試験要項を策定する．それまでの間は，基本的に編入学生は受け入れない．

2) 学生生活への配慮（学生支援）

(1) 修学支援

a) 経済的支援：奨学金制度（大学独自の奨学金，企業等からの奨学金等），授業料減免の状況

i) 学費減免制度

本学学生で世帯の家計が急変した者に対し，当該学生の修学継続を支援することを目的とし，授業料の一部を免除する制度．日本学生支援機構奨学金を貸与中の者も出願できる．

① 減免の内容

当該年度において，30 万円を上限として授業料の一部を免除する．1 人につき，在学中 1 回限り免除される．

② 制度の対象者

過去 6 ヶ月以内に，当該学生世帯の家計が急変し，学費の納入，修学の継続が困難となった本学学生を対象とする（休学生は除く）．減免が認められる家計急変の理由は下記の通り．

- ・家計支持者が会社の倒産，解雇等により，失職，退職した場合（定年退職や自己都合退職は含まず）
- ・家計支持者が死亡又は離別（離婚・失踪等）した場合．
- ・家計支持者が破産した場合．
- ・家計支持者が事故，病気等により，就労不能となった場合．
- ・火災，風水害，震災等の災害により直接的，間接的被害を受けた場合．

なお，家計急変前に急変する見込みの状況での出願はできない．また 1 年以上前から家計支持者に収入がないなど急変とは認められない場合も対象とならない．

③ 出願手続き

学費減免の出願に必要な書類は以下の通り．

- ・長野保健医療大学『奨学金』願書（本学様式）
- ・家計支持者の収入に関する証明書

・家計急変を証明する書類

収入に関する証明書は、所得の有無に関わらず出願する場合は、必ず提出する。家計急変後に就職や転職、自営業等の起業をされた場合は更に提出が必要な書類がある。

家計急変を証明する書類は該当する事由により提出する書類が異なる。

一つでも不備・不足がある場合は、減免の適用選考の対象にならない。

提出書類により本学にて審査する。選考結果は家計支持者の住所宛てに郵送で通知する。

ii) 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構の国内奨学金には、大学入学前に高等学校等を通じて申込みを行う「予約採用」の他に在学中に申込む「在学採用」がある。奨学金の内容は同じ。

「在学採用」奨学金の募集は原則として毎年春にあり申込みは大学を通じて行う。募集日程の通知は、掲示板および学生用情報システム「Active Academy」への掲載にて行う。

失職、破産、事故、病気、死亡等、もしくは火災、風水害等の災害等により家計が急変し、緊急に奨学金の必要が生じた場合は、緊急採用・応急採用奨学金の奨学生として採用される。

緊急採用奨学金は第一種奨学金で無利息、応急採用奨学金は第二種奨学金で利息付の奨学金である。年間を通じて随時採用しているが翌年度の採用となることがある。

iii) その他の奨学金

地方公共団体等が設けている奨学金制度について本学に募集の通知があるものについては、掲示板や学生用情報システム「Active Academy」への掲載にて知らせる。

<授業料減免の状況>

授業料減免制度への申請学生が無かったため、適用された学生も無し。

入学試験の際、申請する入学金免除制度への応募・採用状況は以下の通りである。

区分	応募者数	入試合格者	採用者
理学公募推薦	7	4	2
作業公募推薦	3	2	2

<留年者・休・退学者の状況把握>

平成 27 年 4 月～28 年 3 月

専攻	留年者	休学者数	主な理由	退学者数	主な理由
理学療法学	0	0		0	
作業療法学	0	1(後期休学)	学業不振	2	進路変更

(2) 自主的学習環境

a) 自習室

部屋名	面積	席数	使用時間等
①図書館	166.66 m ²	80	8:30～19:30
②学生ホール	293.22 m ²	192	8:30～19:30
③2Fセミナー室	35.50 m ²	10～15	申込みが必要
④3Fセミナー室	37.20 m ²	10～15	申込みが必要

b) 図書館の利用状況（平成27年4月～28年3月）

①年間開館日数	244日	⑥年間受入雑誌種数	24種（うち購入数22種）
②開閉館時刻	8:30～19:30（授業日）	⑦個人貸出総数	3,373冊（うち学生3,184）
③蔵書冊数	11,372冊	⑧相互協力業務	借受図書1 複写取寄7
④所蔵雑誌種数	60種（うち外国語16種）	⑨文献複写枚数	2,749枚
⑤年間受入図書冊数	1,493冊（うち購入357冊）	⑩年間参考業務	（950～1200回程度）

※入館者数等については、調査ができないため、数値はありません。

c) 学術情報システムの整備（H28年3月時点）

契約システム	活用状況	備考
①メディカルオンライン	ダウンロード数 6,144	I Pアドレス認証
②医学中央雑誌 Web 版	検索数 2,662	I Pアドレス認証

d) 情報処理室

部屋名	広さ	席数	使用時間等
コンピューター室	113.81 m ²	46	8:30～17:30

(3) 科目履修に際してのガイダンスの実施

a) 入学前ガイダンス

第1回 平成27年1月31日（土）10:00～16:00

※推薦入試入学予定者を対象

- ・数学I・A確認テスト
- ・英語講義
- ・「本学入学生としての心構えについて」講義
- ・物理(力学分野)の補講

第2回 平成27年2月21日（土）10:00～16:15

※推薦入試入学予定者は必須，一般入試合格者は自由参加

- ・専攻毎に模擬講義
- ・英語講義

- ・リハビリテーション概論 講義

入学前課題

- ・12月～3月までの学習スケジュール表の作成・提出
- ・推薦図書より6冊を選択し、1000字程度の読書課題文の提出

b) 新入生ガイダンス

第1回 平成27年3月23日(月) 13:30～16:00

- ・大学概要説明
- ・学生生活の手引き解説と諸手続について

第2回 平成27年3月30日(月) 13:00～16:00

- ・履修の手引き解説
- ・Active Academyによる履修登録体験
- ・専攻毎に入学前準備作業の確認

(4) 生活支援

a) 学生委員会の設置

b) 学生生活相談

本学では学生が大学生活を円滑に進められるよう学生からの相談を受け、あるいは学生への指導や助言を行うために、オフィスアワー制度、担任制度、学務課、学生相談窓口を設置している。

i) オフィスアワー制度

各教員のオフィスアワーは週120分とし、その日時は「Active Academy」を利用して知らせている。

学生は直接質問したり説明を受けたりしたいと思う教員があれば、所属する専攻に限らず、オフィスアワー時間に研究室を訪問し対話をすることができる。

ii) 担任制度

本学では各学科の学年ごと（クラスごと）に担任を設け、履修計画や学習内容、就職・進学、健康や日常的な心配事など、学業から学生生活に係る諸問題について相談に乗り、助言や指導も行っている。

iii) 学務課（事務室）

大学生活を円滑に進めていくために必要となる事務的な事柄全般について、事務室窓口にて取り扱う。学費や奨学金、各種証明書の発行、学内施設の利用手続き、通学に係ることなどに加え、落とし物や忘れ物の取り扱いなども行う。経済的な問題など教育や進路に係ること以外の相談も受け付けている。

iv) 学生相談窓口

学生相談窓口は、学業、健康、進路、人間関係、各種のハラスメント、担任や事務室とでは話しにくいことなど学生生活を送るうえで生じた困ったことや悩みごとを相談できる窓口を設けている。

相談の流れとして、まずは相談窓口担当者が話を聞く。相談場所には原則として学生相談室を使用している。相談内容と本人の要望に基づき、相談窓口担当者が心理カウンセラーや専門の教職員の紹介、学校として必要な対策を行うなど、適切に対応する。必要に応じて相談や対応を継続する。

v) ハラスメント防止策

ハラスメント防止に向けて、適切な知識と対応を周知するためにハラスメントに関して学習要項に記載している。

(5) 健康管理：安全衛生に配慮し、健康的で安定した学生生活を送れるように配慮

a) 保健室の設置

怪我や体調不良の応急処置に備えている。

b) 健康診断

毎年 4 月に全学年を対象に健康診断を実施している。健康診断の結果、必要がある場合には個別に連絡・指導を行っている。

臨床実習に参加する学生については、2 年次に麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、HBs 抗体(B 型肝炎)、HCV 抗体(C 型肝炎)、以上 6 項目の感染症抗体検査を実施している。

(6) 進路支援

a) 就職支援

i) 進路希望調査

3 年次の 2 月と 4 年次の 6 月に行っている。

ii) 進路ガイダンスと小論文・面接指導

就職活動の心構え、受験先・求職先への手続き、求人票の見方、アポイントメント（訪問や面接の予約）のとり方、履歴書の書き方、履歴書記入・面接・小論文などの指導を 3 年次の 2 月に行っている。

iii) 求人票

県内外の施設等から求人票を取り寄せ、就職相談室で公開している。求人情報は学生用情報システム「Active Academy」にも掲示し、Personal Page を通じて学生に情報を伝えている。

iv) 求職・受験

提出された求職申込書に基づき個別相談の上、意思確認し受験先を決定している。

受験先が決定したら願書の請求と作成など必要書類の準備を支援している。

受験は原則として 1 ヶ所ずつ（国立・県立病院機構は別）とし、内定に至らなかった場合、次の

受験先を検討する。

v) 受験後の支援

就職内定先への書類提出や対応（内定先への挨拶、内定辞退、内定取り消し等）についての支援を行っている。国家試験不合格の場合、就職先が決まらない場合などの支援も行っている。

vi) 生涯学習・研修

本学卒業生による同窓会「桃李会」が組織されている。なお、卒業生を対象とした「生涯学習講座」の年4回開講を予定している。

(7) 課外活動

本学には学生の自主的精神に基づき、学生相互の親睦と学園生活の向上を図ることを目的として、学生会が組織されている。

学生会は中央委員会議の下、次の委員会が活動している。

広報……………広報活動全般	清美……………清掃・美化の督励と用具の管理
図書……………図書室の運営に関する補佐	運動……………校内体育大会の企画・運営
桃華祭実行…桃華祭に関する企画・運営	機器管理………機器の管理
新聞……………桃華ニュースの発行	

同好会活動状況（所属学生数には専門学校生を含む）

NO.	同好会名称	所属学生数	出場大会など	活動頻度
1	野球	31	専門学校野球大会・長野市サンデー野球	毎週月・金曜日 今井運動広場で練習
2	サッカー・フットサル	23	マイちゃんカップ	毎週 水 or 木曜日 今井運動広場で練習
3	バスケットボール	41	専門学校バスケ大会	毎週月・水曜日 近隣社会体育館で練習
4	バドミントン	37	なし	毎週水曜日 講堂で練習
5	バレーボール	28	なし	毎週木曜日 近隣社会体育館で練習
6	卓球	13	なし	毎週木曜日 講堂で練習
7	軽音楽	7	文化祭で発表	文化祭前に講堂倉庫で練習
8	スポーツトレーナー	63	各種スポーツイベントのサポート	イベント参加は月1・2回 テーピング講習は随時
9	(陶芸)休会中			

3) カリキュラム編成

(1) カリキュラムの編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）の制定

平成 27 年度、教務委員会で素案を検討、2 回にわたる専任教員会議を経て策定。ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーをホームページ上に掲示した。

(2) カリキュラムの編成及び見直しの方法・体制 等

平成 27 年度は、現行カリキュラムについて 3 つのポリシーの関連性を明示することを目的に検討し、文科省のガイドラインを待って作成することとした。平成 28 年 3 月 31 に指針が出されたことから、平成 28 年 6 月に向けて作成を予定している。

4 年後のカリキュラム編成に関する検討を行うための委員会を平成 28 年 6 月を目途に立ち上げることとした。

(3) 教育指導のありかた・シラバスの作成

シラバス作成にあたり、専任教員会議で方針を周知した。

シラバスは開講する 2 年分に加えて、4 年間のカリキュラム分すべてを作成した。（学生便覧参照）

(4) カリキュラムガイダンスの実施状況

入学前に 1 回、入学後に 1 回実施している。

入学前ガイダンスでは、履修の基本的な考え方について、学生便覧を用いて行った。また、履修登録の方法について、演習を行った。

入学後のガイダンスでは、履修登録の支援のために専攻毎に 1 コマのガイダンスを設定して実施した。

(5) 各科目担当者間での授業内容の調整

各教員が個別に授業内容の調整を行っている。またその内容について専任教員会議で検討、教科書の選定等の意見交換を行った。

(6) 教員の教育活動に対する評価の工夫（学生による授業評価等）

年度内に 2 回（前期最終講義終了後および後期最終講義終了後）下記内容にて理学療法専攻および作業療法学専攻の各学生に授業評価アンケートを実施した。

平成 27 年 7 月 21 日－7 月 29 日 理学療法学専攻学生に対し、情報処理演習、解剖学実習（骨格系）を、作業療法学専攻学生に対し情報処理演習、解剖学実習（筋系）、基礎作業療法学、基礎作業学の科目について授業評価アンケートを実施した。

周知方法:Active Academy からの事前メールを配信に加え掲示を行い、学生に周知を行った。

回答方法：Active Academy のメニューからアンケート回答を選択し回答してもらった。

教員所見：学生回答後、各担当教員がアンケート結果を元に所見を記入する期間を約 1 ヶ月設けた。

記載後、事務所に提出してもらうよう周知した。

閲 覧：後期授業開後閲覧期間を 2 週間設けて公開し、事務所で閲覧できるようにした。また、学生にはアンケート案内のメールに閲覧期間についても記載し周知を行った。

平成 28 年度 1 月 14 日-1 月 21 日 理学療法学専攻学生に対し、解剖学実習（神経系）、理学療法基礎セミナー、障害科学 I を、作業療法学専攻学生に対し、英語 II、運動学、人間発達学 I の科目について授業評価アンケートを前期同様に実施した。閲覧期間については年度内に設定し、学生が次年度の準備で登校する期間に合わせて設定した。

4) 成績評価、単位認定

(1) 成績評価、単位認定の在り方・基準

本校の教育課程は、必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これらを各年次に配当し、編成し、教育内容、授業科目の種類及び単位数は別表のとおりとする。

a) 単位の計算方法

各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業方法に応じ授業の教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により算定するものとする。

- ・講義及び演習については、15 時間から 45 時間の授業をもって 1 単位とする。
- ・実験、実習及び実技については、30 時間から 45 時間の授業をもって 1 単位とする。
- ・卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

<卒業に必要な授業科目の履修と単位数>

リハビリテーション学科の各専攻の卒業に必要な授業科目の単位数は、次の表のとおりとする。

区 分		教養科目	専門基礎科目	専門科目	合 計
理学療法学専攻	必修科目	18 単位	34 単位	—	52 単位
	選択科目	8 単位以上	6 単位	64 単位	78 単位以上
	合 計	26 単位以上	40 単位	64 単位	130 単位以上
作業療法学専攻	必修科目	18 単位	34 単位	—	52 単位
	選択科目	8 単位以上	4 単位以上	75 単位	87 単位以上
	合 計	26 単位以上	38 単位以上	75 単位	139 単位以上

b) 学修の評価及び単位の授与)

授業科目を履修した学生に対しては、GPA 制度を導入し、学習の成果を A+(90 点以上)、A (80 点以上 90 点未満)、B (70 点以上 80 点未満)、C (60 点以上 70 点未満)、D (60 点未満) の 5 段階で評価し、A+、A、B、C を合格とする。

成績評価の厳格化のため、成績評価基準に GPA 制度を導入する。

前項に定める成績評価基準をもとに、履修単位の上限設定 (CAP 制) を行う。

あらかじめ履修する旨登録された授業科目を履修し、合格した者には所定の単位を与える。

(2) 他大学および専門学校との単位交換の方針と状況

長野県内大学単位互換に関する協定に基づき単位交換を行うものとし、平成28年度より単位互換履修生の募集を開始する。

3 研究活動

下記項目 1)・5)については紀要掲載予定

1) 教員の研究成果の発表状況

学会発表，論文発表など

2) 共同研究の実施状況

3) 研究費の配分状況・方法

4) 研究費の財源

学外資金の導入，科学研究費補助金の採択状況

5) その他

4 教育・研究組織

1) 教員組織

(1) 教員組織の編成方針

- ・学位，研究実績，業務経験に基づき，教授，准教授，講師，助教により構成した。
- ・管理運営機関として，運営会議，専任教員会議を設けた。
- ・専任教員会議のもとに教務，学生指導，研究の各委員会を設けて責任体制を明確にした。
- ・大学の社会的責任を果たすために，広報，自己点検，FD委員会を設けた。

(2) 専任教員・兼任教員の配置状況

保健科学部リハビリテーション学科の専任教員は，教授10名，准教授3名，講師6名，助教3名の計22名（学長を含む。）を配置した。兼任教員は43名を充てた。

大学設置基準上必要な専任教員数は20名（内教授10名）であり，理学療法士作業療法士養成施設指定規則上必要な専任教員数は12名であるため，教育内容を教授するに適切な数の教員を満たしている。また，本学は，1学科であり，専任教員は両専攻を共通して担当するので専攻別の教員配置を執らないこととした。

(3) 教員人事についての長期計画

教育研究の継続を図るため，退職者があった場合には，その科目を担当するに適した教員を採用する。採用は，バランスのとれた年齢構成となるよう年齢も考慮する。具体的には，退職者の後任の採用は，内部昇格を基本とし，その補充は，可能な限り，下位の職位（講師・助教・助手）として若返るようにする。ただし，内部昇格が適当でない場合は，同じ職位の外部者を採用する。いずれの場合も，今後の採用者は，原則として定年まで4年以上の期間がある者とし，助教・助手の若手を採用するよう配慮する。

5 教育の内部質保証

1) FD（ファカルティ・ディベロップメント）委員会の設置

大学設置認可と同時にファカルティ・ディベロップメント(Faculty Development, FD)委員会の準備委員会を立ち上げた。その中で大学開設後スムーズな FD 活動ができるように準備委員により話し合い、検討を行った。その後月 1 回委員会を開催し、新任教員研修、授業評価アンケートを中心に FD 活動を実施した。

(1) 企画・展開

平成 26 年 10 月 15 日 入試勉強会

平成 27 年

4 月 1 日 第 1 回 新任教員研修会

第 1 回 FD 研修会実施 タイトル「大学の特徴を知ってもらうための FD」

6 月 12 日 大学開学記念講演

7 月 21 日 - 7 月 29 日 授業評価アンケート実施

9 月 12 日 全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム（金沢）。

学長、FD 委員長および FD 委員 1 名参加

9 月 24 日 入試勉強会

平成 28 年

1 月 14 日 - 1 月 21 日 授業評価アンケート実施

3 月 5, 6 日 大学コンソーシアム京都参加。FD 委員 2 名参加。

6 社会との連携

1) 公開講座の開設状況

<平成 27 年度開催の生涯学習講座と市民講座>

① 開学記念講演会（第 2 回生涯学習講座，第 1 回市民講座）

日 時：平成 27 年 6 月 12 日（土）15：00～18：00

会 場：ホクト文化ホール 小ホール

講 師：基調講演

辻 哲夫 氏（東京大学高齢社会総合研究機構特任教授）

パネルディスカッション

宮澤政彦 氏（長野市医師会長）

菅谷 昭 氏（松本市長） 他

参加者数：251 名

その他：同時に一般向けの「大学案内」を作成し配布した。

② 第 3 回生涯学習講座（同窓会総会の一部として開催）

日 時：平成 27 年 8 月 22 日（土）15：00

会 場：ホテルメトロポリタン長野

テーマ：「先輩に学ぶ人生のヒント」

講 師：中澤住夫（長野医療技術専門学校 教務部長）

参加者：45名（教職員7名）

③ 第4回生涯学習講座・第2回市民講座（リハビリテーションクリニック10周年記念講演会）

日 時：平成27年10月24日（土）14：00

会 場：長野保健医療大学 講堂

テーマ：「食事と健康」

講 師：宮坂 斉（四徳学園リハビリテーションクリニック 院長）

参加者：115名（クリニック職員16名，同窓会2名，教職員3名，学生1名）

④ 第5回生涯学習講座

日 時：平成28年2月25日（木）18：30

会 場：長野保健医療大学 第1作業療法室

テーマ：「動作とは何か」

講 師：長崎 浩 氏（東北文化学園大学大学院 名誉教授）

参加者：92名（同窓会13名，学生70名，教職員9名）

<生涯学習講座・市民講座について本委員会での決定事項>

① 卒業生を対象とした「生涯学習講座」を年4回開催する。

本学同窓会と連携して活動する。企画実施は大学が行い，当日の運営を同窓会が行う。

4回のうちの1回は8月の同窓会総会の際に行い，1回は10月の桃華祭の時に行う。

② 健康づくりに関心のある市民を対象とする「市民講座」を年2回開催する。

うち1回はリハビリテーションクリニックの講演会（H27年まで20回開催）と共催

<平成28年度活動予定>

① 春の（第6回）生涯学習講座，（第3回）市民講座

日 時：平成28年5月21日（土）14：30

会 場：長野保健医療大学 講堂

テーマ：「生涯スポーツ」

講 師：金物壽久（長野保健医療大学副学長）

② 夏の（第7回）生涯学習講座

日 時：平成28年8月27日（土） 同窓会総会の際に行う

会 場：ホテルメトロポリタン長野

テーマ：「これからの地域リハビリテーションに望むことー地域包括ケアの視点からー」

講 師：小市健二（長野医療技術専門学校 作業療法学科長）

③ 秋の（第8回）生涯学習講座

日 時：平成 28 年 10 月 8 日（土）桃華祭

会 場：長野保健医療大学 講堂

その他：テーマ，講師等については，桃華祭実行委員会が発足後に検討する。

④ 秋の（第 4 回）市民講座（リハビリテーションクリニック講演会に共催）

日 時：平成 28 年 9 月 17 日（土）

会 場：長野保健医療大学 講堂

テーマ：背骨の病気あ・れ・こ・れ

講 師：宮坂 齊（四徳学園リハビリテーションクリニック院長）

⑤ 冬の（第 9 回）生涯学習講座

日 時：平成 29 年 2 月頃

会 場：未定

講 師：未定

7 管理運営，財政

1) 管理運営方針

(1) 組織

本大学の管理運営を行う組織として，運営会議，専任教員会議及び各種委員会を置く。運営会議は，理事長，学長，学部長，学科長，事務局長並びに理事長が指名する者を持って構成し，学園の重要事項を審議する。専任教員会議は学則第 44 条に基づき，教授，准教授，講師，助教が参加し，大学教育に係る事項を審議し，その結果を受けて，学長以下教員が一体となって，教育と研究を達成するよう運営を行う。前述の各会議のほか，自己点検・評価委員会，FD 委員会，研究委員会，研究倫理審査委員会，紀要委員会，広報委員会を置くとともに，専任教員会議の下に教務委員会，学生委員会，研修委員会を置く。

(2) 明文化

各種会議・委員会の運営に関する事項は，各会議・委員会規程に定める。また，運営に関わる必要事項については，組織規程を始めとした各種規程に定める。

(3) 事務組織

事務局を設置して，総務部（人事給与・経理・諸会議・福利厚生・施設管理等を所掌），学務部（学務課，キャリア支援課を置く。学生募集入試・就職広報・奨学金等・図書館管理・キャリアアップ等の業務を所掌）の 2 部制の組織とし，学園及び大学の全体の事務を併せて担当する。

(4) 予算の編成と執行

事務局長は予算積算資料をもとに経営全体の立場から統合・調整した予算原案を作成し，理事会の承認を経て決定する。執行は総務部が所掌し，経理規程に基づいて会計処理を行う。